

卒業研究

講師名	千葉 賢一	実務経験等	農業改良普及センター・農業研究センターでの普及指導員・専門研究員としての経験を活かし、卒業研究に向けた試験・調査等について指導する。
-----	-------	-------	--

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
農産園芸学科・専門科目	農産園芸・花き	必修	2	通年	120	4
使用教科書・副教材	必要に応じて提示する。					
授業の目的	講義や専攻実習で得た知識と技術を活かし、自ら作成した卒業研究計画に基づいて栽培管理や調査を実施し、結果を取りまとめて考察を行うことにより、自己管理能力や課題解決能力を養う。					
授業の到達目標	卒業研究計画に基づいて栽培管理や調査を実施し、結果をとりまとめて考察を行うことができる。					

月	学 習 項 目	学 習 事 項	時 間	授 業 形 式	備 考 (提出物等)
7月	現地検討会	卒業研究の中間進捗状況を説明し、助言・意見を踏まえて検討・修正することを通じて、研究手法や調査手法等について理解を深める。	8	実習	検討会資料
10月	中間成績取りまとめ	農大祭のパネル作成・展示を通じて、研究成果(研究の目的、概要、中間成績)の取りまとめ手法及びプレゼンテーション手法を習得する。	12	演習	展示パネル
11～12月	成績取りまとめ、発表	調査データ整理から資料(図表)の作成、結果に対する考察まで一連の過程を通じて、研究成果の取りまとめ手法を習得する。また、発表会を経験して、プレゼンテーション手法を習得する。	68	演習	発表会資料、スライド
1月	卒業研究集録、抄録の作成	卒業研究集録及び抄録の作成を通じて、研究成果の取りまとめ手法を習得する。	32	演習	卒業研究集録、抄録
		合計	120	時間	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

筆記試験は実施せず、以下により評価する。
 論文:60%
 平常点:40%(出席状況、取組姿勢、発表手法)

履修に当たっての留意点等

作物の生育状況や天候等により、専攻実習と入れ替わる場合があること。